

補正予算の内容

1. 補正予算額

歳入・歳出ともに 164,810千円の増額補正
(予算現額 16,876,000千円→17,040,810千円)

2. 補正予算案のポイント

- 歳入 前年度繰越金の増
- 歳出 国・都への償還金の増

3. 補正の理由

歳入 164,810千円

①繰越金 +164,810千円
前年度の事業費が確定したことにより、収支の差額を令和3年度に繰り越す。令和2年度の税込の増収分は新型コロナウイルス感染症の影響による令和3年度の税込減に充てるため、繰越額が多くなっている。

歳出 164,810千円

①基金積立金 +40,000千円
②諸支出金 +119,000千円
前年度に交付された都からの普通交付金等を、精算により返還する。

- ・令和2年度災害臨時特例補助金 16千円
- ・令和2年度保険給付費等交付金 115,239千円
- ・保険者努力支援金分 207千円
- ・特別調整交付金(市町村分) 349千円
- ・都繰入金(2号分) 2,848千円
- ・特定健康診査負担金 342千円

③予備費 +5,810千円

補正予算とは

➤ 補正予算とは

当初予算成立後に発生した理由によって当初予算どおりの執行が困難になった時に、本予算の内容を変更するように組まれた予算のことです(地方自治法218条に規定)。

一般会計では災害等の突発的な対策、国保特別会計では医療費の増減に伴って補正予算が組まれる場合がありますが、今回の補正予算は、昨年度決算の実質収支(=収入から支出を引いたもの)を、今年度の財源として歳入し、必要な歳出に充てる内容です。

(小平市の国民健康保険事業特別会計では、令和2年度の実質収支は約2億1,480万円の黒字でした。)

➤ 補正予算の成立

市議会での承認を得ることで、補正予算が成立します。(市議会9月定例会)

補正後の予算規模

当初予算額	16,876,000千円
第1号補正額	+164,810千円
第2号補正後の予算額	17,040,810千円